

# おくすりの話

## 薬を正しく飲んで医療費を節約

「保険税が高い」、「医療費が高い」という声をよく耳にします。その一方で、「薬があまっている」という話を聞くことがあり、実際に、薬袋に飲み残した薬がたくさん入っていることを目にすることがあります。

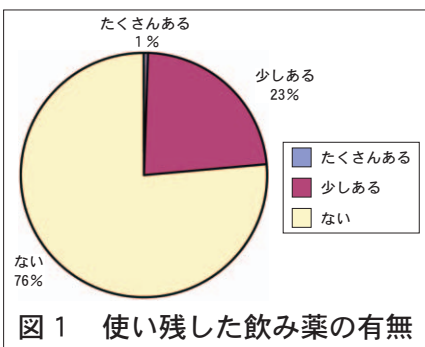
握するため、平成19年度老人クラブ運動教室に参加した65歳以上の方（女性235人・男性3人）に薬のアンケートを実施しました。

『薬は安価なもの』というイメージがあるかもしれませんが、受診者と保険者の両方の負担で「薬を買っている」という気持ちで、医師の処方を守り正しく飲みましょう。

医療機関から飲み薬を処方されている方は、200人（84%）で、治療中の病気は、高血圧が全体の59・5%（119人）で最も多く、ついで高脂血症19・5%（39人）・骨粗しょう症16・5%（33人）でした。

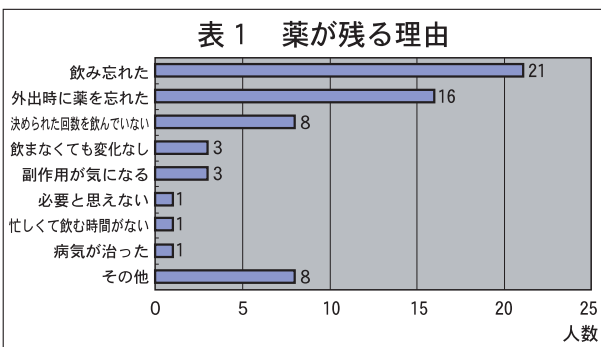
### アンケートを実施

高齢者の服薬の状況を把握



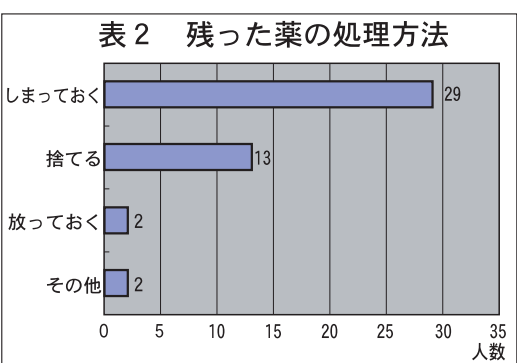
**① 使い残した飲み薬の有無**  
図1のとおり、使い残した飲み薬が「たくさんある」「少しある」と解答した「使い残した薬のある人」は、服薬している方の24%（47人）でした。「ない」と回答した方は76%（153人）でした。

**② 薬が残る理由**  
表1のとおり、「使い残した飲み薬のある人」の薬が残る理由で最も多かった



のは、「飲み忘れた」44・7%（21人）で、次いで、「外出時に薬を忘れた」34%（16人）でした。薬を忘れたことにより薬が残っている現状が多くありました。また、「決められた回数を飲んでいない」と回答した方は17%（8人）で少数でしたが、自己判断で薬を減らしたことで、薬が残っている現状がありました。

**③ 残った薬の処理方法**  
表2のとおり、残った薬のある47人中、残った薬を



「しまっておく」と回答した人は61・7%（29人）で、しまっておく理由は、「次回も残りを使う」という方がほとんどでした。「捨てる」と回答した方は27・7%（13人）で、薬が無駄になっっている現状がありました。

薬は大切な医療資源の一部ですので、無駄にしないようにしましょう。

**○薬を正しく飲むために**  
・ 与薬を受ける時は、主治医や薬剤師から薬の必要性・副作用等について納得できるまで説明を受けましょう。  
・ 複数の医療機関から薬をもらっている場合は、主治

**○飲み忘れを防ぐために**  
飲み忘れを防ぐために、みなさんはいろいろな工夫をしていると思いますが、次の方法はいかがでしょうか？  
・ 薬を受け取ったら、すぐに毎日飲む薬を日付ごとに分けておく。  
・ 朝起きたら一日分の薬を食卓等、目につく場所に出しておく。  
・ 家族等、身近な人に「薬を飲んだか？」と声掛けしてもらおう。  
・ 外出時は薬を忘れないように事前に準備をしておく。自分にあつた方法で、飲み忘れを防ぎましょう。

**◆問い合わせ**  
健康管理課健康管理班  
☎3400

「しまっておく」と回答した人は61・7%（29人）で、しまっておく理由は、「次回も残りを使う」という方がほとんどでした。「捨てる」と回答した方は27・7%（13人）で、薬が無駄になっっている現状がありました。

薬は大切な医療資源の一部ですので、無駄にしないようにしましょう。

「捨てて」と回答した方は27・7%（13人）で、薬が無駄になっっている現状がありました。

薬は大切な医療資源の一部ですので、無駄にしないようにしましょう。

「捨てて」と回答した方は27・7%（13人）で、薬が無駄になっっている現状がありました。

薬は大切な医療資源の一部ですので、無駄にしないようにしましょう。